

にしとべの丘

にほんじん かんようせい
日本人の寛容性こうちょう いしかわ ひろし
校長 石川 博

あたらし とし むか せいと ことし もくひょう なん もくひょう たっせい
新しい年を迎えました。生徒のみなさん、今年の目標は何ですか？ 目標を達成するにあ
って、いつまでに何をすべきなのかしっかりと計画を立てましょう。保護者・地域の皆様、学校関
係の皆様、本年も相変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。

しょうがつ というのはにほんでは特別な月であるということはいまでもありません。日本では年末に
お掃除をして、お飾りをつけ、お節料理を用意します。新年を迎えると初詣にお出かけになった方
も多いと思います。よく、日本人は無宗教だと言われることがあります。キリスト教徒のように日
曜日に礼拝やミサのために教会に行くことはありませんが、年末から正月にかけての行動は日本
に根付いている信仰からくるものではないかと思えます。

にほんじん たしんきょう にほん はつびやくまん かみ え どじだい しん
日本人は多神教です。日本には八百万（やおよろず）の神がいるといえます。江戸時代までは神
仏習合でしたから仏様も神社の神様も路傍の道祖神も信仰の対象でした。さらに言うと、山や
海、樹木など自然の中にも神様が宿っているとして信仰の対象でもありましたし、ちょっと昔に
トイレにも神様がいますという歌がありました。キリスト教やイスラム教のような一神教の方か
らすると何とも節操がないと思われてしまうかもしれませんが、信仰にあっても寛容なのだと思
います。

にほん むかしばなし かんよう ももたらう いっすんぼうし おに せいばい
日本の昔話でも寛容であることがわかります。桃太郎や一寸法師に鬼がでてきますが、成敗は
されるものの改心してよりよく生きていこうとします。さらに合戦のサルも同様です。一方で赤
ずきんちゃんに出てくるオオカミはどうなったのか？ヘンデルとグレーテルに出てくる魔女はど
うなったのか？ 溺死に焼死です。なんとも残酷です。悪は徹底的に排除されます。

げんこう がくしゅうしどうよりょう つく はいけい か なか にほんじん せかい さい
現行の学習指導要領が作られた背景には、グローバル化の中で日本人が世界に出ていく際には、
国際的な場でも自分の意見を主張できる能力が必要という課題が指摘されていますが、もう一つ
に将来の変化が予測できない、また今までに経験したことの無い問題、答えのない課題に向き合
ったときに異文化を理解し多様な人々と協働してい
けることが重要としています

にほんどくとく ゆた しぜんかんきょう しゅうきょうかん もと
日本独特の豊かな自然環境や宗教観に基づく
寛容性はこれからの国際社会を生きるうえで重要なキ
ーコンピテンシーだと思っています。

1月5日に見えた西中からの富士山



11月25日金曜日の5・6校時に、1・2年生合同で職業講話を行いました。今年度は、グリーンスポーツさん、近畿日本ツーリストさん、エプソン販売株式会社さん、株式会社オフィスポートさんをお招きし、講話をしていただきました。生徒はこの4つの事業所の中から2つの講話に参加し、業種ならではの体験活動をしたり講師の方の仕事に対する思いを聞いたりすることで、自分の将来について考える良いきっかけになりました。講話が終わったあとは積極的に質問をする姿も見られ、より一層将来の展望が開けたようでした。



〈生徒の職業講話学習発表より〉

- ・実際にユニホームのデザインの配置を考えたりして体験をするきやすかったです。
- ・旅にはいろいろな形があることがわかりました。例えば目の見えない人のドライブ体験をすることがすごいと思いました。
- ・EPSONではSDGsに取り組んだり、コンシューマ営業、ビジネス営業などの色々な営業方法を取り入れたりしていることがわかった。
- ・オフィスポートでは教材等の販売や家具などの販売をしていて、名前だけでは想像ができないくらい大きい役割を果たしていることがわかった。

横浜市防災センター見学

1学年主任

11月29日(火)に1年生は横浜市防災センターへ校外学習に行きました。応急処置の練習や地震の揺れ体験、消火活動体験、地震時の避難の体験などを行いました。どの体験も、普段なかなか想像ができないことを自分事として感じることでできる貴重なものでした。今後、生きている間に経験することになるかもしれない災害に備え、今どんなことを考えなくてはいけないのかということを実践に学ぶことができました。



しんねん あ 新年、明けましておめでとうございます。てんこう めぐ おだ 天候に恵まれた穏やかなお正月でした。かご 家庭では、どのようなダイニングを迎えたのでしょうか。

わがや 家で、く 暮れより従姉妹家族が^{むか}宿泊し、その後みんなで^{じっか}実家に集いました。31日は、19時ごろより年の瀬の宴を催し、にしん・かき揚げ・山芋などのお好みトッピングの年越しそばを23時過ぎた頃よりいただく^{なら}習わしを楽しむことができました。そして、年が明けるとみんなで、蒲鉾・伊達巻・松前漬けなどのおせちとともに^{そうに}お雑煮をいただき、1年健康に過ごせることを願いました。

この度は、それぞれが歳を重ね、役割も変わってきたことを痛感しました。ただただ、キッチンに立ち続けてきた昨年までとは違い、次男が蕎麦をゆでて提供^{ていきよう}する役割を担ってくれたこと。また、お年玉を楽しみにしてきた息子や甥たちがそれぞれ社会人となり、ここ数年は従姉妹の子どもたちに「は～い、集まって～」^いと言いながら^{ぶくろ}ポチ袋を手渡す姿に、受け継ぐこと・受け継がれることの大切さを感じました。

ねんじゅうぎようじ 年中行事や日々の暮らしは、^{かくじつ}確実に子どもたちの目に映り、自然と身についているのです。ゆっくり人参を刻む間もないことを理由に、松前漬け作りをサボろうとした私に「お正月と言ったら、お雑煮と松前漬け」という長男の言葉に、受け継がねばと奮起させられた一コマがあったのも変化の一つです。

日々の生活の中での^{あた}当たり前の「食」の中には、自然と受け継いでいる大切なことやものが沢山あるのです。それぞれの役割を感じ合い、大切に^あしあえる場所こそが「家庭」であり、大切に^あしあえることを知るのが「家族」の在り方ではないかと思えます。

今年も「食で学ぶ 食を学ぶ」で皆さんと繋がれることを楽しみにしていきたいと思えます。子どもたちをはじめ、若い世代の方々にも感じていただけるようなコラムをお届けしたいと思えます。

最後に冬の大根の美味しいレシピを掲載します。家族で温まっていたら幸いです。

旬の大根と鶏手羽先の炊き合わせ

【材料】大根 800～1000g (7～8cm直径のもの20cmほどだが、手に入ったもので)

手羽中 10本ほど

昆布とかつおの出汁(無塩) 1500～2000cc 酒100cc・塩・ゆずなど

【作り方】①大根は厚め(皮から2～3ミリ)に皮を剥き、2cmの輪切りにし、水から下茹でする。火が通ったら、大根を取り出し水につける。

②鶏手羽中を①の湯に入れ、白く色が変わったら、ザルにあげる。

③昆布と鰹の出汁に大根と手羽中を入れて、火にかける。沸騰したら灰汁をとり、火を中火弱に落とし、酒を加え、途中で塩(水分量によるが1.5大さじほど)も加える。

④鶏手羽中の骨が身から出てきたら、最後に塩かげんを整え、盛り付けたら薬味に柚子の皮の干切りをのせる。辛味に胡椒や柚子胡椒など好みのものを用意する